



図書館だより 12月

NO.8

2014/12/01

ノートルダム学院小学校図書館



一 師 走 12 月 一

1年をしめくくる12月。12月は1年最後の月という意味で極月（ごくづき）と言ったり、旧暦きゅうれきでは冬の終わりにあたるので春への期待を込めて、「春待月（はるまちづき）」と言ったりします。町では、クリスマスの曲が流れて、なんとなく気ぜわしくなる月でもあります。年内に仕事の区切りをつけたり、お掃除をしたりして新しい年を迎える準備をしますが、これほど年越しに力を入れるのは日本くらいだとか。

大晦日には1年のけがれをはらい、新しい年を迎える祭りが各地で行われます。秋田の「なまはげ」、山梨の「吉田の火祭り」、岡山の「西大寺の会陽」は日本3大奇祭とされています。日本各地で行われる12月のならわし、お祭り、行事、自然界の様子など調べてみましょう。京都には古くから行われている風習がいろいろありますよ



— 2015 年 は ヒ ツ ジ の 年 —

クリスマスの夜にイエスさまの誕生を最初にしらされたのは、羊飼ひつじかたちでしたね。ヒツジが出てくるお話を紹介しましょう。

①「ヒツジのおやこのおくりもの」(十二支むかしむかし) 谷真介 佼成出版

じいさんは、ヒツジの親子をつれて、わがままほうだいの孫に会いに行きました。やがて孫は、ヒツジの世話を通して心のやさしい少年へと成長します。十二支のヒツジの昔話。

②「アローハンと羊」(モンゴルの雲の物語) 興安 こぐま社

ある春の日、遊牧民ゆうぼくみんの少女アローハンは、草原で親に見捨てられた子羊を救います。その日から子羊はいつでもどこでもアローハンについてくるようになり、それは大人の羊になっても変わりませんでした。アローハンがお嫁に行っても羊は心の支えでしたが、ある晩、草原を大吹雪たいふぶきがおそって..



③「空からきたひつじ」フレード・ロドリアン 徳間書店

ある日、クリスティーネは森の中でまっ白でふわふわの羊を見つけました。ひつじ雲のなかまと遊んでいたら空から落ちてしまったというのです。空へ帰してあげなくちゃ、でも、どうやったらいいのかな..



④「こひつじクロ」エリザベス・ショー 岩崎書店

羊飼のおじさんは犬のホローといっしょに羊の番をしています。羊の中に一匹だけ毛の黒いクロ。ホローはそんなクロをやっかい者あつかいします。でもおじいさんはそのままいいんだよとクロをなぐさめてくれます。ある日急に空が暗くなって..

⑤「まいごになった子ひつじ」ゴールデン・マクドナルド 長崎出版

「ひつじかいの夜」(みんなの聖書絵本) 日本聖書協会..など



あなたが借りている学校図書館の本

冬休みまでに返しましょう

お正月を迎えるための大そうじやかたづけをする時、

学校図書館の本が残ってないかどうか調べてください。

貸し出しは12月11日(木)まで

返却は12月19日(金)まで

